

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)レーベン草加氷川町	階数	地上15階
建設地	埼玉県草加市	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	280人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年11月 予定	評価の実施日	2024年11月14日
敷地面積	990㎡	作成者	佐藤あゆみ
建築面積	408㎡	確認日	2024年11月14日
延床面積	4,543㎡	確認者	天野耕成



てください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値: 100% ②建築物の取組み: 77% ③上記②以外の: 77% ④上記+: 77%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能: 5 Q1 室内環境: 4 Q3 室外環境(敷地内): 3 LR1 エネルギー: 4 LR2 資源・マテリアル: 3 LR3 敷地外環境: 3</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.0</p>
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 エネルギーシステムの効率化によりCO₂削減23%とした</p>	<p>その他 住戸に使用するガラスについては複層ガラスを採用 共用部の照明についてはLEDを使用している</p>	
<p>Q1 室内環境 複層ガラスを使用し、断熱性、遮音性能を高め室内環境を高める計画としている</p>	<p>Q2 サービス性能 全住戸Gbitクラスのブロードバンドを利用可能とした</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 0</p>
<p>LR1 エネルギー エネルギー消費削減の為共用部に使用する照明にはLEDを採用している</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 解体時に分別しやすい構造としている</p>	<p>LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO₂削減率23%</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)レーベン草加氷川町

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.2
Q1 室内環境			0.40			3.2
1 音環境		2.5	0.15	3.4	1.00	3.2
1.1 室内騒音レベル		2.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.8	0.50	
1 開口部遮音性能	開口部の遮音性能T-2 ※A-7 内部仕上表	3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	畳床遮音性能LL-45 ※A-7 内部仕上表			4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20	
1.3 吸音						
2 温熱環境		3.0	0.35	3.1	1.00	3.1
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.3	0.50	
1 室温	設計住宅性能評価5-1 等級4 ※性能評価書5-1	3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能		3.0	0.38	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口				3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.0	0.25	3.6	1.00	3.5
4.1 発生源対策		3.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	規制対象外の材料を使用 ※A-7内部仕上表	3.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						
1 CO ₂ の監視						
2 喫煙の制御						
Q2 サービス性能			0.30			3.5
1 機能性		3.0	0.40	4.2	1.00	4.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応	つなぐネットによる全戸一括加入 ※A-7内部仕上表及びパンフレット			5.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観				3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		3.3	0.30			3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		4.2	0.30			
1 躯体材料の耐用年数	設計住宅性能評価3-1 等級3 ※性能評価書3-1	5.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁に磁器タイル使用(50年) ※A-5外部仕上表	5.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要配管に硬質塩ビ管を使用 ※M-01機械設備特記仕様書	5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			
2.4 信頼性		2.8	0.20			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		3.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				-	3.0	0.50	
1 階高のゆとり				-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
R1 建築物の環境負荷低減性							3.3
R1 エネルギー				0.40			4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.81	5.0	0.50		-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価				-		-	
4.1 モニタリング				-		-	
4.2 運用管理体制				-		-	
集合住宅の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
R2 資源・マテリアル				0.30			2.7
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60		-	2.7
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		解体時に分別しやすいボード下地としている ※A-7内部仕上表	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.7	0.20		-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.6	0.70		-	
1 消火剤			2.0	0.33		-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33		-	
3 冷媒			3.0	0.33		-	
R3 敷地外環境				0.30			3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2削減率23%	3.9	0.33		-	3.9
2 地域環境への配慮			2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制				-		-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうら外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	
2 風光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)レーベン草加氷川町	BEE	1.3	BEEランク	★★★
------	---------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.9	+	2.6	=	6.5	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.9
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9
<配慮した内容を記述> LCCO2排出率77%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			

: 入力欄